

# 狭あい道路 後退用地寄附の現場確認の図解

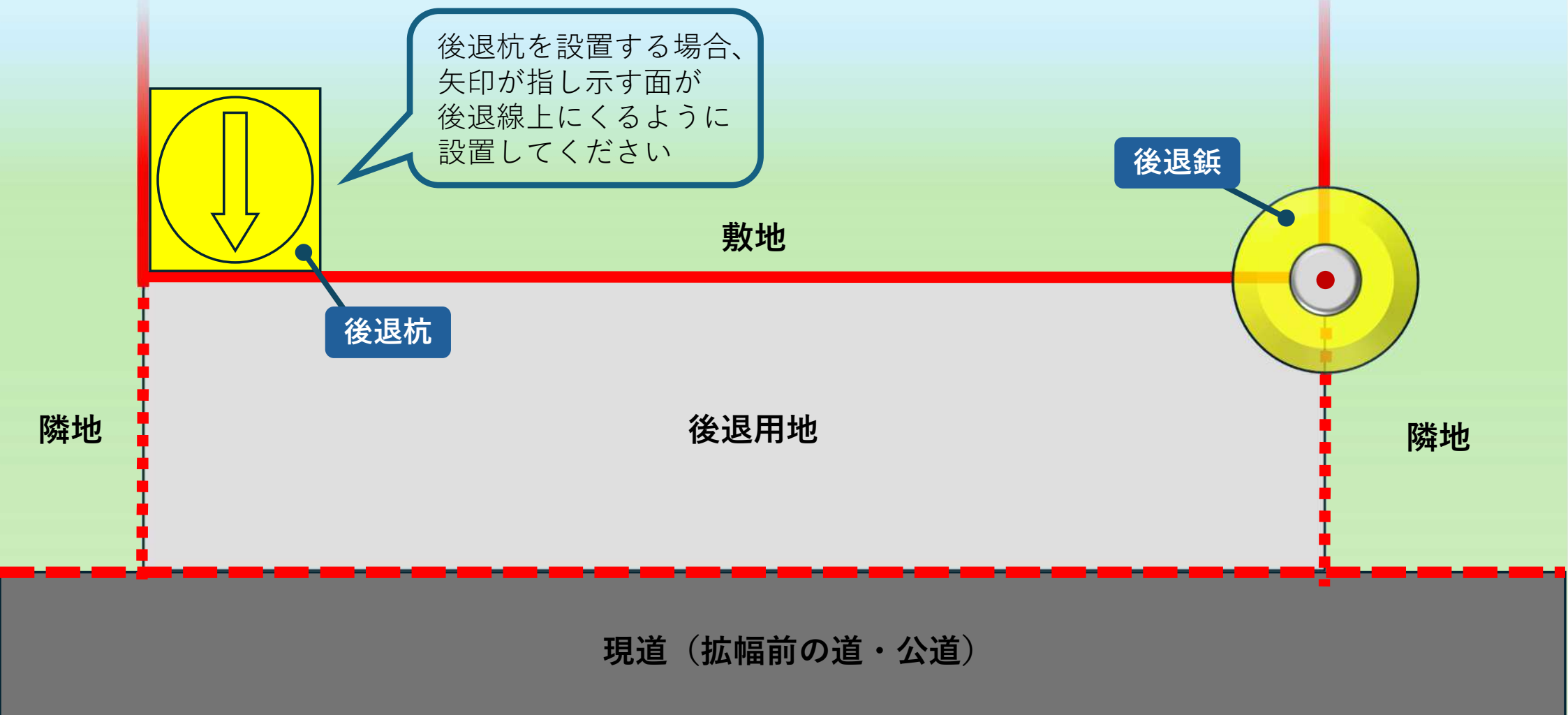
本資料は「寄附現場確認チェックリスト」の図解資料です。

図解中の番号はチェックリストの項目番号に対応しています。

チェックリストと図解資料を活用して現場の状況を十分に確認してください。

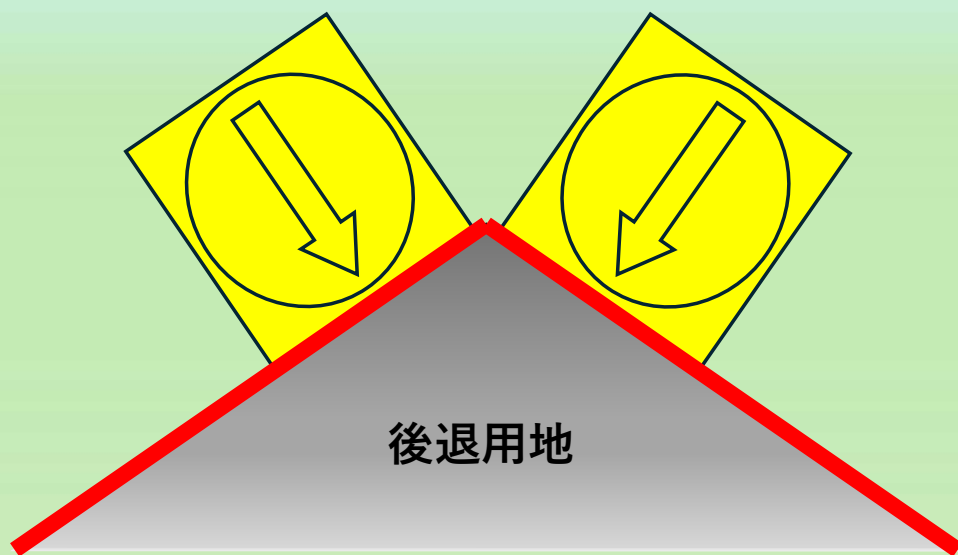
なお、チェックリストの内容は原則として遵守してください。ただし、現場の状況により、道路公園センターとの協議で別の対応が認められる場合があります。協議を行う際は、事前に各区道路公園センターへ連絡し、図面や写真など現地状況が確認できる資料を持参してください。

- ① 狭あい協議の図の位置に後退標（杭または鉾）を設置してください  
設置位置は誤差 1 c m 以内とし、片側 2 m を確保するため現道（拡幅前の道）  
側には寄せないでください

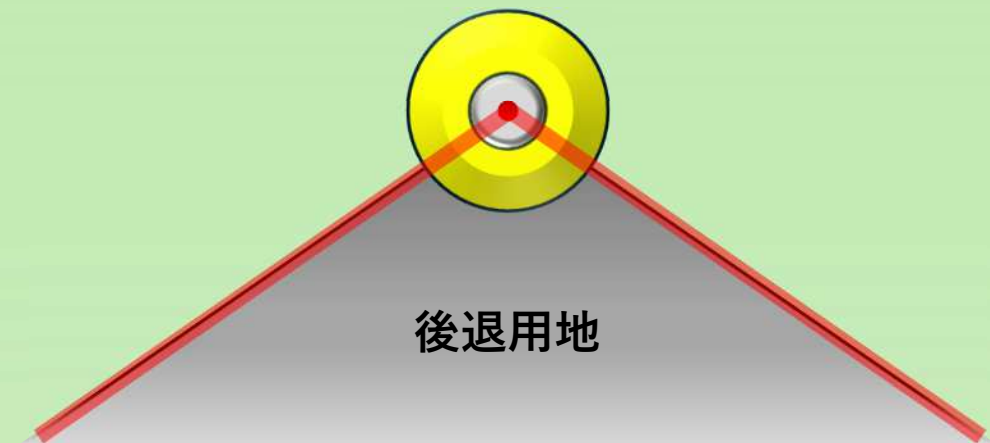


## 折れ点の後退標の設置方法

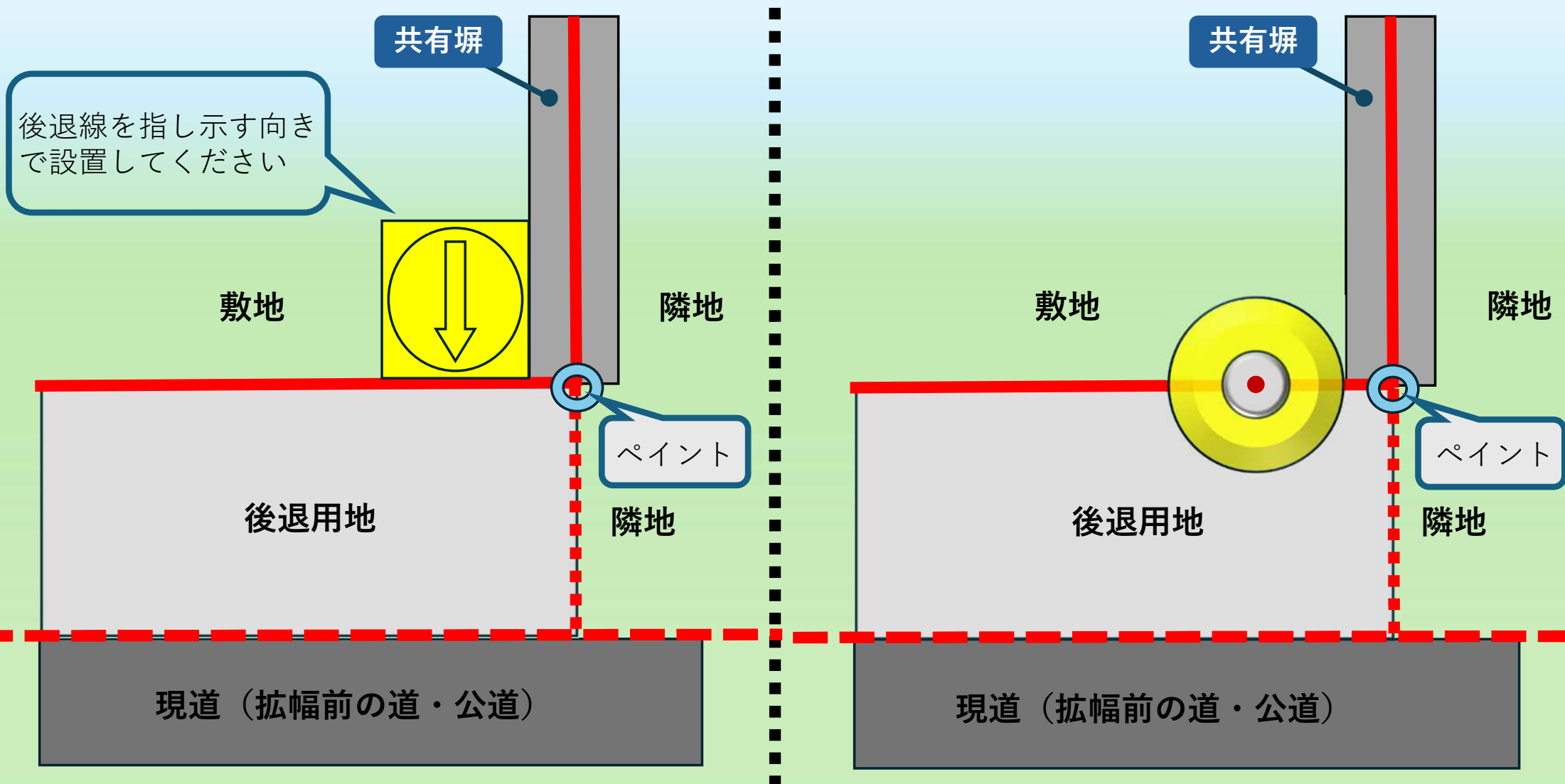
後退杭の場合



後退鉤の場合



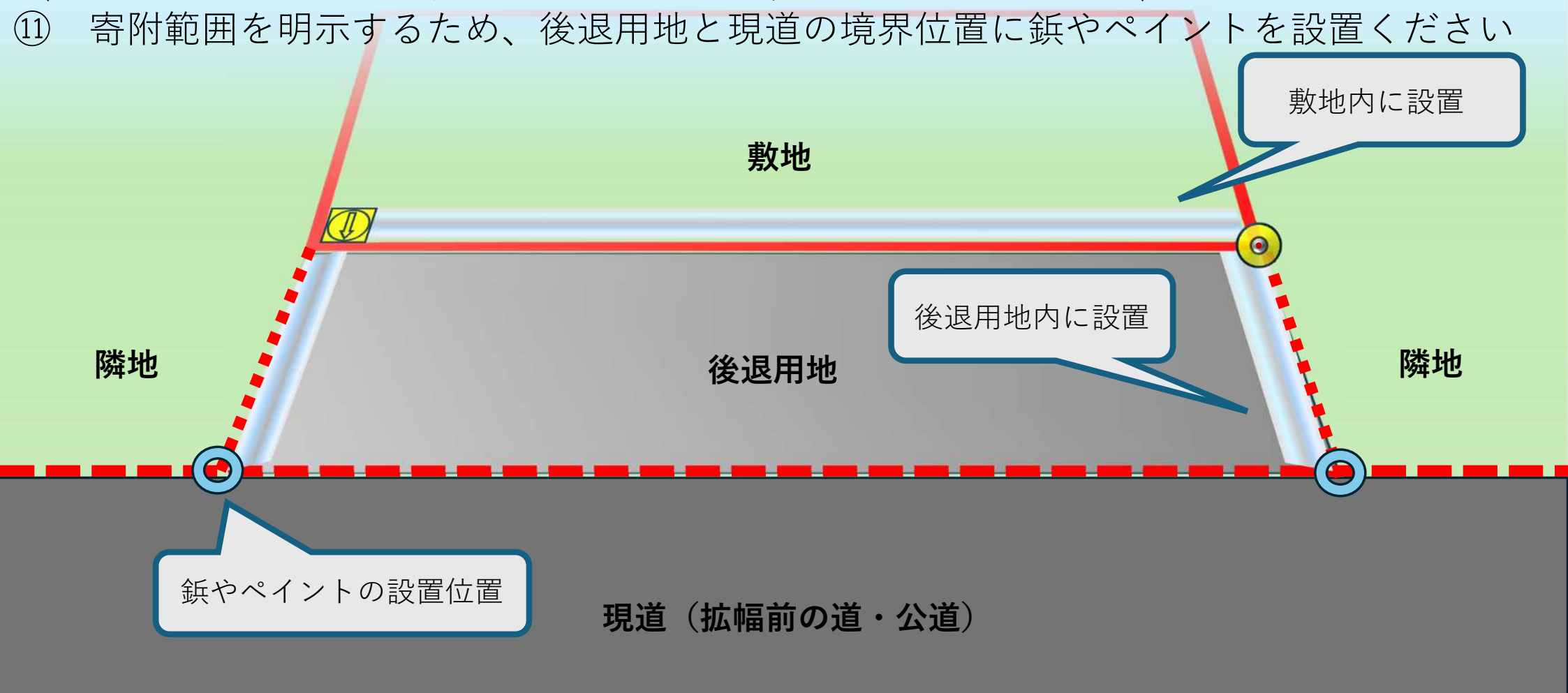
隣地との共有塀がある場合には共有塀のすぐ隣に設置してください  
そのうえで正しい位置をペイントで明示してください



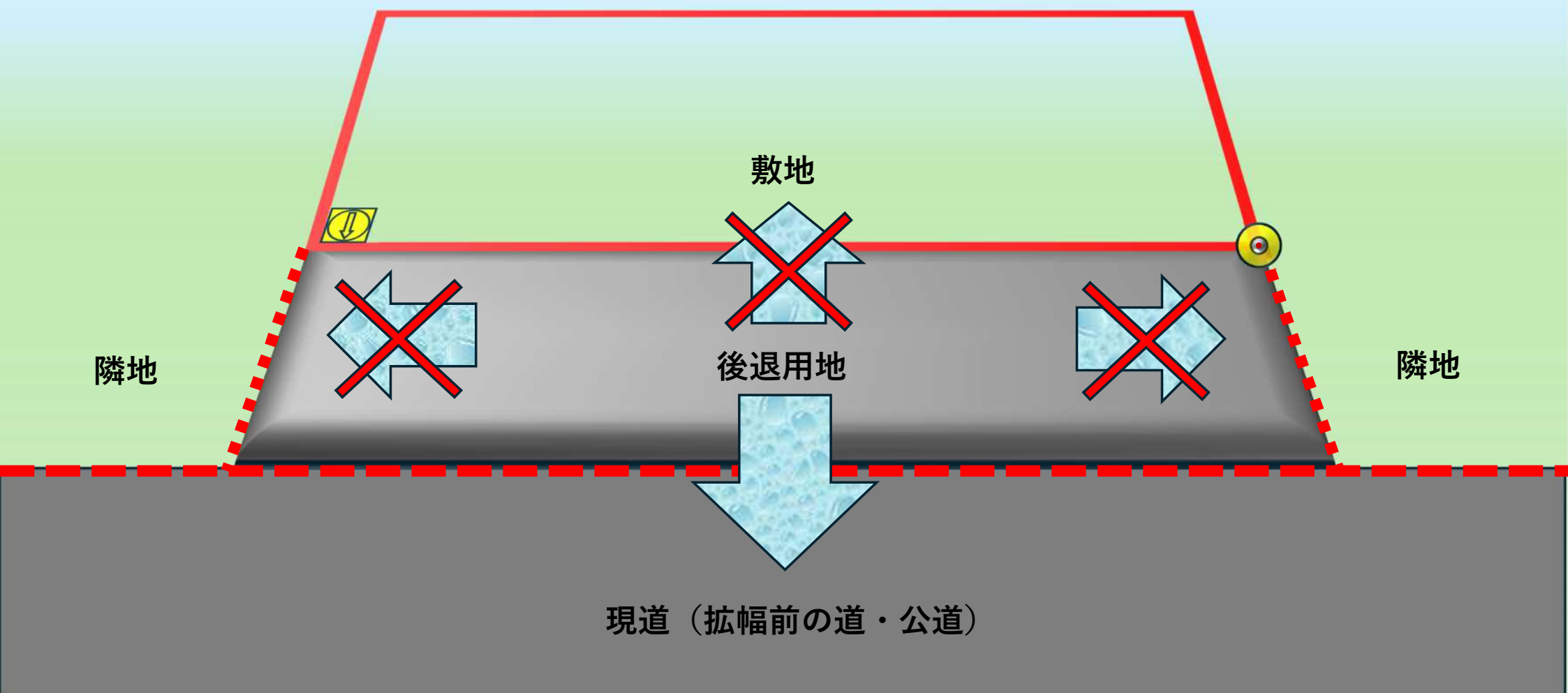
②③⑥⑦ 後退用地の範囲が現地でわかるように

- ・敷地と後退用地の境界には、縁石や目地材など敷地内に設置し、構造を分けてください
- ・隣地と後退用地の境界には、後退用地側に縁石や目地材を設置し、構造を分けてください  
(隣地がアスファルト舗装されている場合は、この設置は不要です)

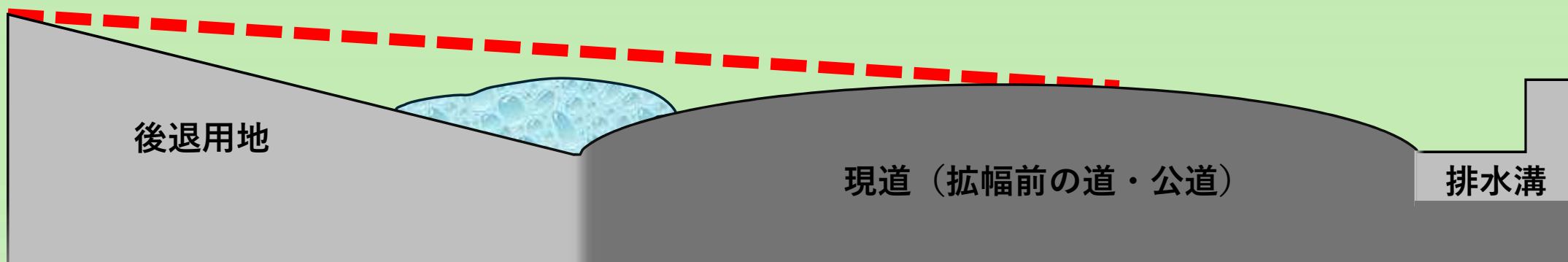
⑪ 寄附範囲を明示するため、後退用地と現道の境界位置に鉋やペイントを設置ください



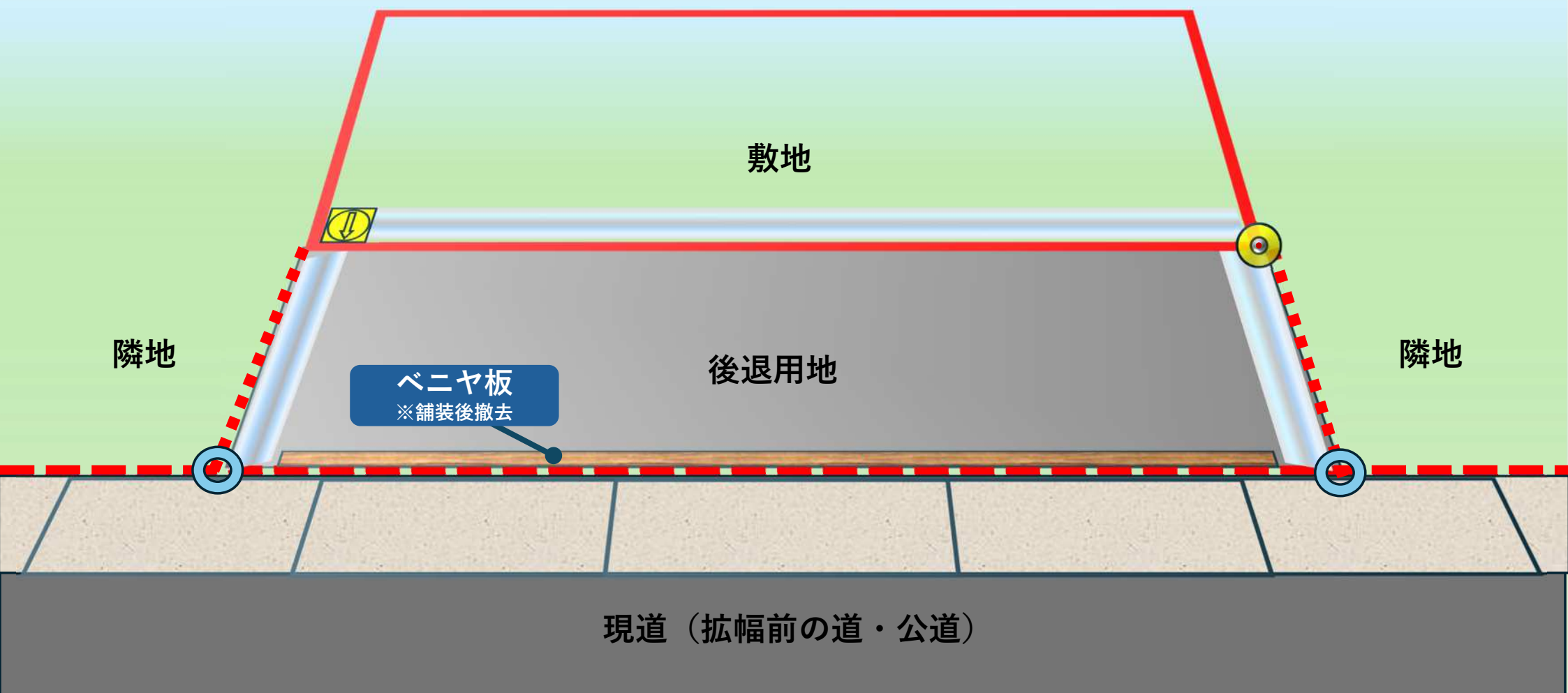
④⑤ 公道（現道）に水が流れるようにしてください  
後退用地から敷地や隣地に水が流れてしまう場合、寄附を受付けることができません



- ⑧ 現道にある排水溝に向かって最大2%の水勾配を付けてください  
図のように、片側で排水している場合、後退用地と公道に水が溜まってしまいうため、現道ごと勾配を取り直してください  
※公道（現道）部分を工事する場合は道路公園センターにご相談ください

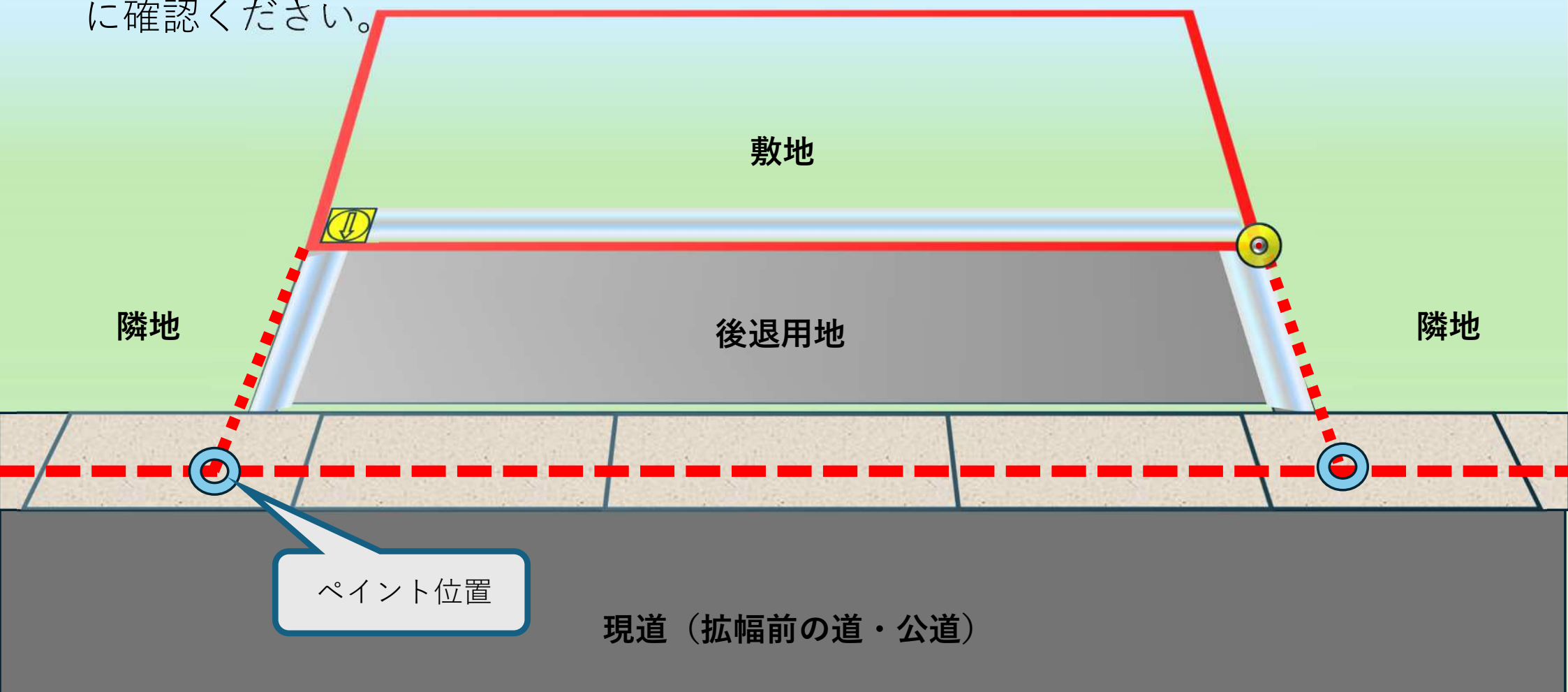


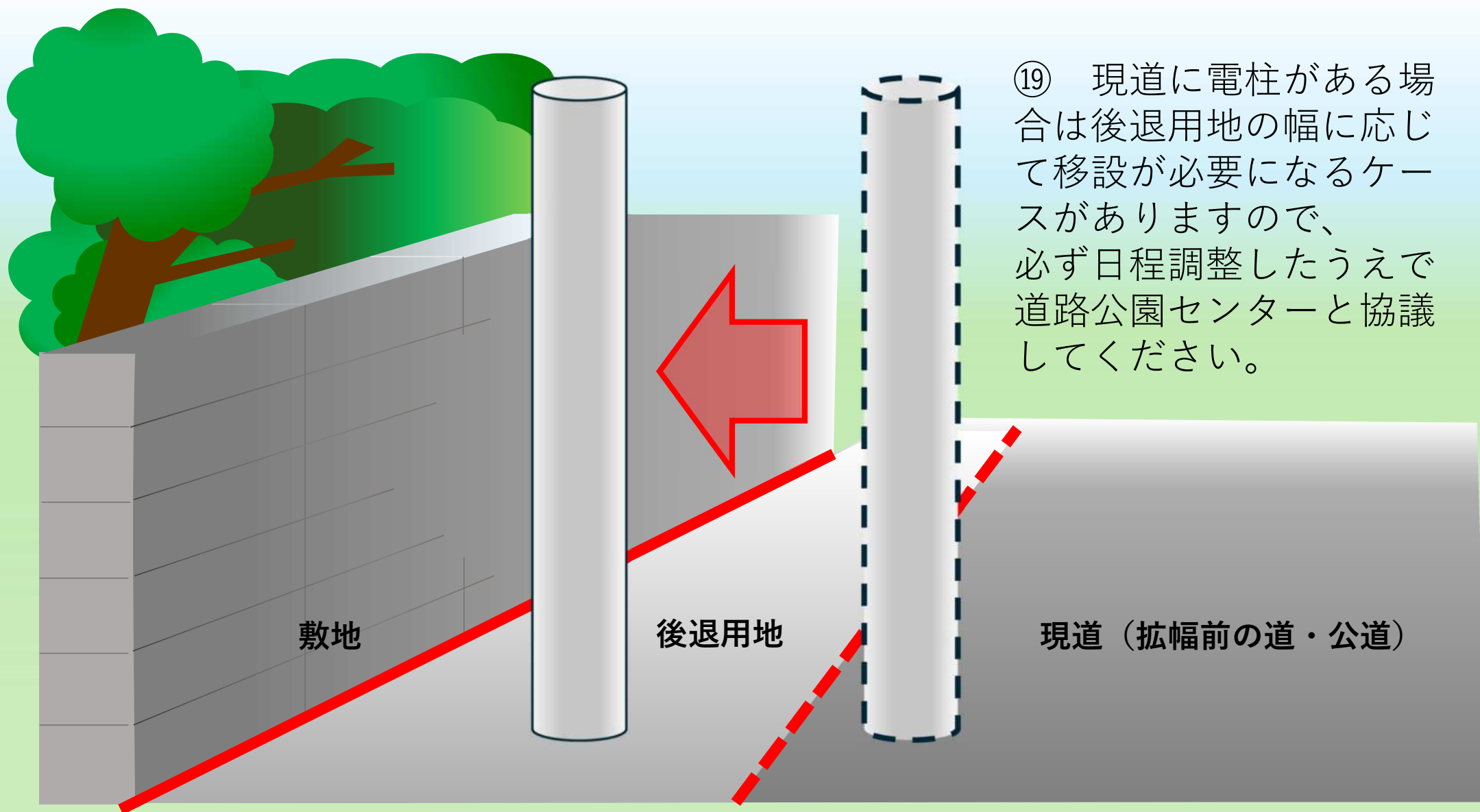
- ⑩ U字側溝がある場合は蓋が開けられるようにしてください。  
なお、U字側溝に沿ってベニヤ板を入れて舗装する場合、腐敗してしまうため舗装後に撤去してください





- ⑪ 後退用地と現道の境界位置にU字側溝がある場合はペイントしてください
- ⑱ 後退用地に側溝がある場合、下流側が私有地だと寄附できません。ただし、市が管理する側溝は寄附できますので、市が管理しているか道路公園センターに確認ください。





⑭ 現道に電柱がある場合は後退用地の幅に応じて移設が必要になるケースがありますので、必ず日程調整したうえで道路公園センターと協議してください。

②① 敷地の前、敷地の左右にある直近の境界標、その1区画先にある境界標について  
道水路台帳平面図と現地の位置が整合しているか確認してください。

整合しない場合（境界標が現地に見当たらない場合や境界標間の距離が2cm以上  
整合しない場合）は、道路公園センターとの協議のうえ、境界標を打ち直していただく  
場合があります。

